



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎(026)236-2531

<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

広報

# 中部の森林



野沢温泉スキー場 写真提供：野沢温泉村

## スキーシーズン到来

国設スキー場 次々オープン

天然雪の滑走可能

(P.2に関連記事)

主な項目	○ 管内の国設スキー場を紹介 ..... P.2
	○ 各地からのたより ..... P.3~6
	○ 風景紀行（段戸裏谷原生林） ..... P.8



この広報誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

# 管内の国設スキー場を紹介

「国有林野管理課」中部局管内には、長野・岐阜両県に国有林を活用した国設のスキー場が二十七箇所あります。

今シーズンは、早い時期から良質の降雪に恵まれ、オープンすると同時に滑走可能なスキー場が多く、年末年始を控え、ゲレンデコンディションも良好で、天然雪での滑走ができ、幸先が良いスタートとなっています。

スキー客の動向を長野県で見た場合、昨年は約八八〇万人のスキーヤー・スノーボーダーが利用しましたが、前年比九十四割といった状況であり、スキー人口の減少に歯止めをかけるため、各スキー場とも魅力あるサービス等の工夫を凝ら

した誘客に努めています。

事例を紹介しますと、エリアの異なるスキー場の共通リフト券を格安価格で販売するスキー場や、ファミリー層が気楽に利用できるように託児所、キッズパークを設置するなど工夫したサービスの向上に努めています。

今シーズンは、家族や恋人、友達とそろってスキー場へ出かけませんか。新しい出会いと発見があるかもしれません。



戸隠スキー場



チャオ御岳スノーリゾート

## 中部局管内の国有林を活用したスキー場一覧

県別	項番	スキー場名	場 所	オープン	お問合せ先(インフォメーション)	
					電話番号	ホームページURL
長野	1	戸狩温泉	飯山市戸狩温泉	12月17日	0269-65-2539	http://www.togarijosen.co.jp/
	2	木島平	下高井郡木島平村上木島	12月17日	0269-82-3434	http://www.kijimadairakanko.jp/
	3	木島平牧の入	中野市田上牧の入	12月17日	0269-82-3151	http://www.makinoini.co.jp/
	4	野沢温泉	上高井郡野沢温泉村	12月3日	0269-85-3166	http://www.vill.nozawaonsen.nagano.jp/
	5	飯綱高原	長野市大字富田	12月23日	026-239-2505	http://www.kg.to/iizuna-ski
	6	いいづなリゾート	上水内郡飯綱町大字川上	12月18日	026-253-3911	http://www.iizuna-resort.com/
	7	戸 隠	長野市戸隠越水	12月17日	026-254-2106	http://www.togakusi.com/skimenou/
	8	黒姫スノーパーク	上水内郡信濃町黒姫高原	12月17日	026-255-3176	http://www.kurohime-kogen.co.jp/
	9	白馬岩岳	北安曇郡白馬村北城	12月17日	0261-72-2780	http://www.hakuba.jp/iwatake
	10	乗鞍高原温泉	松本市安曇	12月17日	0263-93-2333	http://www.norikura.co.jp/
	11	信州野麦峠	松本市奈川	12月17日	0263-79-2246	http://www.vill-nagawa.jp/
	12	湯 の 丸	東御市湯の丸	11月26日	0268-64-0400	http://www.valley.ne.jp/yunomaru
	13	菅平高原	小県郡真田町菅平高原	12月9日	0268-74-2003	http://www.sugadaira.com/
	14	菅平高原パインビーク	小県郡真田町菅平高原	12月9日	0268-74-2138	http://www.pinebeak.co.jp/
	15	ブランシュたかやま	小県郡長和町大門鷹山	12月3日	0268-69-2232	http://www.blanche-ski.com/
	16	エコーバレー	小県郡長和町姫木平	12月4日	0268-60-2001	http://www.echovalley.co.jp/
	17	富士見高原	諏訪郡富士見町境広原	12月22日	0266-66-2932	http://www.fujimikogen-resort.jp/
	18	ピラタス藝科	茅野市藝科高原	11月26日	0266-67-2009	http://www.pilatus.co.jp/
	19	やぶはら高原	木曾郡木祖村大字菅	12月17日	0264-36-3322	http://kankou.kisomura.com/
	20	開田高原マイア	木曾郡木曾町西野	12月9日	0264-44-1111	http://www.mia-ski.com/
	21	御岳ロープウェイ	木曾郡木曾町三岳	12月10日	0264-46-2525	http://www.ontakerope.jp/
	22	おんたけ	木曾郡王滝村	12月10日	0264-48-2431	http://www.ontake.co.jp/
岐	23	ダイナランド	郡上市高鷲町大字西洞	11月20日	0575-72-6636	http://www.dynaland.co.jp/
	24	チャオ御岳スノーリゾート	高山市高根町日和田	12月10日	0577-59-3620	http://www.ciao.co.jp/
	25	緑風リゾートひだ流葉	飛騨市神岡町伏方	12月17日	0578-2-0916	http://www.ryokufu-resort.com/
卓	26	すずらん高原	高山市朝日町西洞	12月23日	0577-57-2116	http://www.suzurankougen.net/skimainpage.htm
	27	濁河温泉	下呂市小坂町落合	12月下旬	0576-62-3373	http://www.hida-osaka.com/

## 各地からのたより

### 治山工事施工地の見学会を 行い意見交流

【飛騨署】十月二十一日、国有林における治山治水への取り組みの紹介と国土保全活動の普及啓発を目的として、高山市議会議員や市の担当職員、下流域の各町内会長、当署職員ら二十名が参加し、福地国有林及び穂高国有林内の治山事業施工地の見学と意見交換会を行いました。

当日は、秋晴れで槍ヶ岳などの北アルプス連峰も雲ひとつなく、紅葉をながめるには絶好の日となりました。

福地国有林のオソブ谷は、稜線沿いに高低差百メートルも及ぶ急崖地が帯状に残り、火山噴出物や脆弱な火山岩類が山脚部や溪床に堆積しており、昭和三十五年から堰堤工や谷止工等を施工しています。

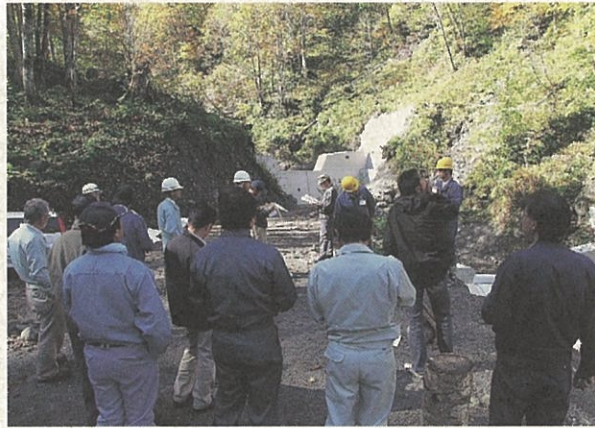
また、穂高国有林の穴毛谷は、笠ヶ岳・抜戸岳の稜線に囲まれ急角度に落ち込んだ斜面で、山頂付近に多くの崩壊地が分布し、大規模な岩盤崩落により多くの不安定土砂を有しているため、昭和四十一年より堰堤工や床固工とあわせ護岸工を整備しています。

治山治水事業の継続・推進の要請を行っている議員さんや町内会長さんも、温泉街から数キロ上流にこのような大きな崩壊地があり、大規模な治山工事が行わ

れていることに驚いていました。

意見交換では、「治山工事や森林整備の推進とともに、下流の都会の人達にもこのことを知ってもらう必要がある。」「観光地（国立公園）なので工事の施工に当たっては、見た目で付近の環境に馴染むよう緑化にも配慮してほしい。」との要望がだされました。

飛騨署としても森林整備や治山の推進には地域との連携が必要であり、今後ともこのような見学会を継続して実施することにしています。



参加者の説明に聞き入る職員

### 小学生が大ネズコの 保護活動を実施

#### 保護活動を実施

【飛騨署】十月三十一日、平湯国有林の「遊々の森」において、子供達に森林

を守り育てる意識を高めるため、平湯大ネズコ（推定樹齢千年、森の巨人達百選）の保護活動を行いました。

この活動には、高山市栃尾小学校五年生十二名、先生、県緑の子ども会議担当職員、平湯巨樹・巨木保全協議会会長、地元の自然環境アドバイザー、平湯町内会の人々、当署職員ら二十一名が参加しました。

紅葉も終盤で少し肌寒い天候ではありませんでしたが、子供達は急斜面の歩道を元気に登り、所々で赤や黄色の落ち葉を拾い集め、木の葉で一杯になった買い物袋を両手に持ち三十分ほど歩いて大ネズコに到着しました。

大ネズコの下で、平湯巨樹・巨木保全協議会会長や自然環境指導員などから森林の大切さ、木の葉の役割やネズコの保護活動などの話を聞きました。

その後、当署職員の指導のもと、拾い集めた落ち葉が堆肥となるように大ネズコ周辺に散布し、大ネズコ周辺の歩道の整備も行いました。

帰り道では、木の葉の飛行機を飛ばしたり、真っ赤になったヤマボウシの果実を食べたりしました。

活動終了後、児童の感想発表では、「いろんな木や草の名前を教えてもらって勉強になった。」「この地域に平湯大ネズコという大きな木があるので、これからも守っていかるとよい。」「すごくよい体験をして楽しかった。」「これか



落ち葉を集めて

### 「森林の働きや大切さを学んだよ！」 名古屋市立小幡小学校

【名古屋事務所】十一月四日、名古屋市立小幡小学校（守山区）六年生の児童百七人が、じょうこうじ響の森へ森林教室に訪れました。

前日までは天候も落ち着かず、開催が危ぶまれましたが、当日は天候も回復し晴天となりました。イラスト等を使った森林の働きについての話を聞き、丸太切り体験後、鉛筆立て作りを行う木工クラフト、森林散策と野外ゲームを体験しました。

午前十時過ぎ、JR定光寺駅から徒歩で約四十分かけ、元気に丸根山駐車場へ

到着しました。その後、二班に分かれ午前と午後でプログラムを交代し、それぞれの教室が行われました。

森林の働きの話では、酒向尾張森林官から自作のイラストをはじめ、網と小石・煉瓦とスポンジ等を使った酸素や水の供給、土砂の流出防止等森林の持つ重要な働きについて実演を交えながら分かり易く説明を受けました。

木工クラフトでは、鋸を初めて使う子供たちも、みんなで協力し合いながらヒノキ丸太を切断しました。その後、卓上ボール盤で慎重に穴を空け、鉛筆立てを完成させました。

また、森林散策では、地面の木の葉をめぐり、葉っぱの分解や地中への水の浸透の状況、木の根が土や石をしっかりと掴んでいる状況について歩道断面等を利用して確認しました。

野外ゲームでは、森の色あわせと木の鼓動を体験しました。森には色々な色が



森林散策で自然を観察

存在することや、聴診器を木に当てることにより、普通木が聞いている音について、木の立場に立ってみんなで考えました。

三時間という短い時間でしたが、森林の中で学んだ様々なことを、これから少しでも考えていただければと思います。

### 「丸太切り等で木の良さをPR」 ウッドビレッジ秋のイベント

「名古屋事務所」十一月五～六日、愛知県大府市にあるウッドビレッジ健康木の住まいにおいて、木とふれあひ、木の良さを感じ、木の住まいの素晴らしさを体験していただく「ウッドビレッジ」秋のイベント」が開催されました。

名古屋事務所からは各日三名が参加し、環境と木に関するパネル展示や、木工クラフトとして丸太切り体験、鉛筆立てづくり、木とふれあうカンナくずプールの等を行い、木の良さをPRしました。

鋸で木を切るの初めての子供がほとんどでしたが、時間をかけ自分で切ったヒノキ丸太に、慎重に卓上ボール盤を使って穴を空け、鉛筆立てをつくるのとても楽しそうでした。一日目の晴天とはうって変わりましたが、本イベントに両日で二千二百人が訪れ、延べ二百組を超える親子が当事務所ブースで木にふれあいました。

今後もこうした機会を通じ、都市住民に対する、木の優しさや温もりなどのPR活動に取り組んで行きたいと考えています。



自分で切って加工して

### 「自然環境の大切さ学ぶ」 第七回森林ふれあい講座

「名古屋事務所」十一月十二日、名古屋熱田生涯学習センターにおいて、指導普及課元鳥技術開発主任官を講師に、第七回森林ふれあい講座「希少植物と自然環境について学ぼう」を開催しました。

今回の講座は、熱田生涯学習センターの公開講座「環境講演会」との共催事業として行ったもので、名古屋市内及び近郊市町村から多数の参加がありました。

はじめに、地球が誕生して以来、四十数億年かけて環境の変化に適応しながら、多種多様な生物が進化してきたことや、人間の生産活動等により、種の絶滅

が危惧されることなど、地球の環境問題と生態系についての概要の説明がありました。その後、イヌワシやライチョウなど希少動物、アツモリソウや葦毛湿原に見られるミミカキグサなど希少植物を例に挙げ、生態や温暖化による影響などについて学びました。

元鳥主任官が調査の傍ら撮影した写真や、豊富な知識・体験を交えた熱弁に、受講者の皆さんは真剣にメモを取っていました。

参加者からは「自然についてさらに知識を深めた」、「環境保護の必要性について関心をもつことができた。」などの意見が聞かれ、自然環境の大切さについて理解していただけたものと思います。



講演風景

### 法人の森林（ドコモ定光寺の森） 立ち上げ式

〔愛知所〕愛知所管内の瀬戸国国有林において設定した「法人の森林」の契約が、（社）国土緑化推進機構と中部森林管理局の間で十一月十一日に締結され、（社）国土緑化推進機構から杉山募金部長が、中部森林管理局から矢内名古屋事務所長が森林交流館を訪れ、契約を記念し堅く握手を交わしました。

この法人の森林は、ドナーチョイス方式（使途選択型募金）による「緑の募金」を活用して設定された法人の森林で、中部局管内では、北信署管内に設定された「法人の森林（ドコモとよた山の森）」に続き二件目の設定となります。NTTドコモ東海職員による歩道づくりや除伐作業等の森林整備を通じて社会貢献活動や企業のPRを行うほか、小学生を始め広く一般の方々にも取り組みの輪を広げることとしています。

(5) 平成17年12月  
この契約を記念して十一月十九日、「法人の森林（ドコモ定光寺の森）」の立ち上げ式が、瀬戸国国有林においてNTTドコモ東海の社員五十二名の参加により開催され、杉山募金部長と矢内名古屋事務所長のほか梶愛知所長が来賓として参加し、記念セレモニーである看板の除幕式とエゴノキ、ヤマボウシなどの記念植樹が行われ、その後、参加者全員による森林整備が行われました。

当日は、天候にも恵まれたことから、枯木の処理などが予定どおり進められ、参加者からは「楽しく作業できた。」「初めての作業だったが、整備ができていくのは気持ち良かった。」などの感想も出されていました。



握手を交わす  
杉山部長と矢内事務所長

※ドナーチョイス方式（使途選択型募金）とは。

「緑の募金」の中のドナーチョイス（使途選択型募金）は、募金活動の多様化を図る手段の一つとして、募金額の五割を超えない額を限度として、募金した企業が使途を森林づくり活動の支援メニューの中から選択できるもので、今回「法人の森林」の活動を選択したものです。

### 巨樹・巨木協議会で橋の架け替え 作業を実施

〔岐阜署〕平成十六年九月二十九日に飛騨小坂赤沼田天保林巨樹・巨木保全協議会が発足し、同協議会は毎年、総会で

の方針に基づき、「天保林大ヒノキ」の保護・保全活動を実施してきました。今年には江戸時代の天保年間に植栽された人工林、赤沼田天保林内を流れる小谷、クグリキ谷に架かる歩道橋が老朽化したために、十一月十七日に同協議会奥田俊夫会長をはじめ、下呂市役所小坂振興事務所職員、当署職員総勢十二名で歩道橋の架け替え作業を行いました。当日は晴天に恵まりましたが、日陰に入ると相当寒くて体をよくほぐしてから作業に取りかかりました。

作業中は各人が自然に役割分担され、組織が違っても同士でも団結力があり、昼食には一時間程度遅れましたが、長さ六・五m、幅六十五cmの立派な木製歩道橋を完成することができました。

昼食中は天保林を今後どう保存していくか等の話題など天保林に対する各人の意見が出され、来年の活動に向けて有意義なひと時をおくりました。



歩道橋の架け替え作業

〔愛知所〕平成十七年度農林水産省総合美術展覧会において、鈴木良和（写真右）、下城大作（写真左）の二名が彫刻・工芸の部に陶芸を出品したところ、みごと下城大作さんの「春のいぶき」が農林水産大臣賞に輝きました。また、鈴木良和さんの「清流」についても佳作一席に選ばれました。  
下城大作さんの「春のいぶき」は、常滑まで出向き作製した焼き物で、桜をイメージした一輪差しの花瓶です。  
鈴木良和さんの「清流」は、ガラス工芸で吹きガラスで作った入れ物（茶碗）で水の流れを感じさせる作りとなっています。

### 農林水産省総合美術展表彰式

### 「農林水産大臣賞受賞」



表彰式を終えて喜びの両氏

### 「ふれあいの森」で森林整備

「愛知所」段戸国有林に設定している「ふれあいの森」で、一般募集による森林整備を十一月十九日～二十日に実施しました。

十九日は、「名古屋シティ・フォレストクラブ倶楽部の森」に約二十名が集まり、ヒノキの植林地約二・五畝の除伐と枝払い作業を職員の指示のもと約四時間行いました。参加者の中には、山の作業に不慣れな人も多く、雑草や灌木の木の前に進むのは大変そうでしたが、ケガもなく

予定していた作業を終えることができました。リーダーの一人は、「森林を整備していくのは、大変だけれど大切な事だということも少しも分かっていただきたい。」と森林整備の大切さを参加者に話されていました。

二十日は、「中日森友隊の森」で募集した約五十名が、除伐作業や枝払いの作



親子で枝払い作業

業を行い、「朝は寒かったけれど作業をしていると汗が出ました。」との声もあり、山の作業の辛さを実感されていました。参加者で最年少の長谷川諒くん（十歳）は、お母さんと初めての参加で、「山で木を切るのは初めて、でも枝を切ったあときれいになって行くのは楽しい、山に来て気持ち良かった。」と感想を述べてくれました。

### 自然の物を素材に 手作りリースに挑戦!!

#### 手作りリースに挑戦!!

「名古屋事務所」十一月二十三日、森林交流館において第八回森林ふれあい講座を開催しました。

紅葉も深まった小春日和の中、二十一名の参加者は、森林から集めた蔓をベースにクリスマスリース作りに挑戦しました。

飾り付けには、森林交流館の周辺から拾い集めた、マツボックリやコウヨウザン・モミジバフウの球果等をふんだんに使い、にぎやかに、楽しくそれぞれ個性豊かなリースを完成させました。

お昼の休憩時間には、季節を感じさせてくれる曲目のオカリナの演奏があり、参加者は澄んだメロディーに聞き入りま



一生懸命にリース作り

した。

クリスマスリースを完成させた後、テラマツの大きなマツボックリやドンダリ等を使い、可愛い壁飾り等も作り、楽しい一時を過ごしました。昨年に続いて参加された方も「毎年違う作品が完成し感激しています。」と、また出来上がった作品を目にした交流館の来館者からも「来年の講座には是非申込みをしたい。」との声が多く聞かれ、とても有意義な講座となりました。

### 国有林野等所在市町村長有志 連絡協議会を開催

「企画調整室」平成十七年度国有林野等所在市町村長有志連絡協議会を、十一月二十四日、長野市において開催しました。会議には、管内各ブロックを代表する市町村長等十名と、当局から関局長、



協議会の様子

矢内次長、各部長、関係課・室長のほか、林野庁から福田経営企画課長、大西施工企画調整室長が出席しました。会議の冒頭に、関局長から、中部森林管理局の業務運営等に対する御礼、公益的機能の発揮や地球温暖化の防止に重点を置いた取り組みの紹介やご支援のお願い等の挨拶があり、また林野庁経営企画課長からは、国有林野事業へのご支援・ご協力に対する御礼と中央情勢についての説明等がありました。

次に企画部長と森林整備部長から平成十七年度の主な取組等を紹介し、続いて意見交換を行いました。

意見交換では、各市町村長から国有林野の利活用、間伐材の利用拡大等多岐にわたる発言があり、活発な意見が交わされ、市町村の国有林に対する大きな期待が感じられた会議となりました。

中部森林管理局からのお知らせ

平成18年度

# 国有林モニターの募集について

中部森林管理局では、国民の皆様は国有林の役割や現状を知っていただき、ご理解していただくとともに、皆様のご意見を国有林の管理・経営に役立てていく取り組みの一環として、「国有林モニター」を募集いたします。

内容は、次のようなことをお願いする予定です。

- (1) 国有林に関するアンケート
- (2) 各事業へのコメント
- (3) 皆様からのご意見・ご提言
- (4) モニターを対象とした会議への出席

皆様のご応募をお待ちしております。

### 記

- 1 募集人員 30名
- 2 応募締め切り 平成18年1月31日 (消印有効)
  - ・結果は平成18年3月中旬頃までに、依頼状を発送してお知らせします。
  - ・応募状況によりましては抽選による選定をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 3 依頼期間 平成18年4月から平成19年3月まで
- 4 応募方法 官製はがき・封書・Eメール・FAXにて、下記の応募記載事項を記し「中部森林管理局 国有林モニター係」宛にお送り下さい。
- 5 応募資格 富山県・長野県・岐阜県・愛知県にお住まいで国有林に関心をお持ちの成人。  
ただし次の方は除きます：
  - 国会・地方議会の議員 ○ 地方公共団体の長 ○ 常勤の国家公務員
  - 過去に国有林モニターをされた方

### 6 応募、問合せ先

〒 380-8575  
 長野県長野市大字栗田715-5  
 中部森林管理局 企画調整室 国有林モニター係  
 Tel: 026-236-2652 FAX: 026-236-2657  
 Eメールアドレス: <chbrfo0@rinya.maff.go.jp>

- 7 その他
  - ・国有林モニターの応募理由やご提出いただいたアンケート、ご意見、ご提言については名前を伏せて公表させていただくことがあります。
  - ・国有林モニターとしてご提出いただいたご意見やご要望に、個別にお答えすることはいたしかねますのでご了承下さい。
  - ・選定結果に対する個別のお問い合わせにはお答えできません。
  - ・モニターになっていただいた皆様には記念品(千円程度の木製品)をお贈りします。

### ※【応募記載事項】

- ・氏名(ふりがな)・生年月日・年齢・性別・職業
- ・住所(郵便番号)・電話番号(連絡先)
- ・国有林モニターを知ったきっかけ(具体的に記入)
- ・国有林モニターに応募した理由(100字程度)

※ 皆様の個人情報(国有林モニターの目的以外)には使用いたしません。

「段戸裏谷原生林」



愛知県の北設楽郡設楽町に位置する段戸国有林。そのほぼ中央に樹齢約二〇〇年を超えるブナ・ミズナラ等の広葉樹、モミ・ツガ等の針葉樹の巨木の育つ貴重な天然林があります。

ここは「段戸裏谷原生林」と呼ばれ、面積約一三〇畝の林内に東海自然歩道が通り、森林浴を楽しみながら散策するなど、自然観察の場として広く利用されています。

また、この原生林は通称「きららの森」と呼ばれています。段戸の地形を造っている嶺家変麻岩や花崗岩の主鉱物である雲母が地表に現れ、太陽の光を受けてキラキラと輝くことからそのように呼ばれています。

春には、モミ・ツガの間から暖かい陽光が差し込み、オオカメノキ・シロモジ・アブラチャンがつぼみを膨らませ、

樹上では繁殖期を迎えるウグイス・キビタキ・オオルリ等の小鳥のさえずりが盛んになります。

原生林の入り口には、澄んだ水をたたえる「段戸湖」があり、フライフィッシングを楽しむこともできます。

夏は、森林浴の最も良いシーズンで、林の中は涼風とともに元気をくれる場所となります。

また、原生林の近くには、平成十二年に豊川市がオープンさせた野外センター「きららの里」があります。大小七棟のログハウス、屋根付き広場や野外炊事場があり、避暑に訪れる市民や野外教育でキャンプに来る児童たちで大いににぎわっています。

秋には、沢筋にカエデ類の紅葉が見られるものの、どちらかと言うと「黄葉」の方がふさわしくブナ・ミズナラ・シロモジなどの黄色が鮮やかです。

このように、段戸裏谷原生林は、一年を通じて自然とふれあうことができる国有林です。

◇アクセス方法

「名古屋方面からの場合」

東海環状自動車道 豊田勘八インターまたは猿投グリーンロード力石インターから、国道一五三号線を東に走り、「今朝平」交差点から、県道「瀬戸設楽線」を設楽方面へ



「きららの里」



段戸湖

「豊橋・長野方面からの場合」

国道二五七号線を設楽町田口で県道「瀬戸設楽線」へ入り、瀬戸・名古屋方面へ

お知らせ

中部森林技術交流発表会の開催について

中部森林管理局では、国有林・民有林・大学・NPO等が日頃から取り組んでいる森林・林業に関する試験研究、林業体験活動の取組内容について発表し、関係者の交流を深めるとともに、更なる森林・林業の推進とこれら成果の普及に資するため、中部森林技術交流発表会を下記のとおり開催します。

記

- 1 日時 平成18年1月19日(木)～20日(金)
- 2 場所 長崎市大字栗田715-5 中部森林管理局 大会議室
- 3 担当 指導普及課(電話026-236-2623)

行事・会議等の予定

◎事業担当課長会議

1月16～17日 林野庁

◎平成17年度「中部森林技術交流発表会」

1月19～20日 中部森林管理局